



大雨による災害に備えましょう

梅雨の時期に入ると、全国的に見ても大雨による洪水や河川の氾濫、土砂崩れなどの自然災害が数多く発生しており、多くの命や財産が失われています。特に梅雨の終わり頃は、太平洋高気圧や台風の勢力により梅雨前線やその周辺で大雨をもたらしやすくなります。

自然災害から自分や家族の身を守り、被害を最小限にするためにも最新の気象情報を確認し、早めの準備と行動を心がけるようにしてください。

大雨注意報…大雨による土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに気象庁から発表される。

大雨警報…大雨による重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがあると予想したときに気象庁から発表される。

大雨特別警報…台風や集中豪雨により数十年に一度の降雨量となる大雨が予想されるときに気象庁から発表される。

※特別警報では、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように発表されます。



情報を得る

・防災気象情報（気象庁）

<https://www.jma.go.jp>

気象庁では、大雨や台風がいつ、どこで、どのくらいの規模のものがやってくるのかをある程度予測し、情報提供している防災気象情報があります。



QRコードはコチラ

・“気象” × “水害・土砂災害” 情報マルチモニタ（国土交通省）

<https://www.river.go.jp/portal/?region=80&contents=multi>

国土交通省では、リアルタイムの雨量、水位、河川のライブ画像、気象警報、洪水予報の情報といった気象と水害・土砂災害情報をマルチモニタで提供しています。



QRコードはコチラ

・常陸大宮市防災ポータル

<http://www.bousai-hitachiomiya.jp>

防災ガイドブックにより災害に備えたり、市内の防災マップや洪水・土砂災害ハザードマップなどを確認でき、災害時の行動に役立てることができます。



QRコードはコチラ